

第4回大楠幼稚園関係者連絡会会議録

■日 時 令和4年(2022年)9月16日(金) 13:00~14:00

■場 所 大楠幼稚園 2階プレイルーム

■出席者等 保護者、町内会関係者、学校関係者 計8人

教育委員会事務局 古谷久乃(教育総務部 部長)
米持正伸(学校教育部 部長)
飯田達也(教育政策課 課長)
大堀圭輔(教育政策課 主査)
武田裕史(教育政策課 担当者)
渡辺真也(教育指導課 主査指導主事)

■資 料 ・大楠幼稚園関係者連絡会説明資料
・大楠幼稚園に関する主な質問と回答

■発言内容

1 事務局からの説明

※資料に基づき、事務局から説明を行った。

2 意見交換

(保護者)

これまでに大楠幼稚園関係者連絡会、未就園児説明会、在園児保護者説明会に参加し、議会も傍聴させていただきました。

その中で、教育委員会の進め方についてとても残念に思っています。私たちの意見が案として組み込まれていなかったり、一度でもいいので、希望する地域の方にオープンな場を設けてほしいと望みましたが、それもかないませんでした。

また、この連絡会も、教育委員会が決まった内容を報告するという、形だけのように感じてしまいました。この少子化に対する中長期的なビジョンが見られないこと、大楠地区の教育をどのように考えているのかというのが語られてこなかったことについて、私自身が不安な思いになりました。これが最初におっしゃっていた丁寧な話し

合いの場と言えるのでしょうか。

閉園に対してあらがうことはできないと思っていますが、大楠幼稚園とともに関わってきた保護者として、また、大楠地区で、これからも育っていく子どもを持つ母親として抱えている思いです。教育委員会の皆さまには、心の片隅に覚えておいてもらえればと思っています。

(保護者)

大楠幼稚園の閉園に関する主な質問と回答（以下「質問と回答」）を、資料にまとめていただきましてありがとうございます。

質問と回答にある、問3-6の回答の「入園した園児については、大楠幼稚園及び教育委員会が責任を持って卒園するまで教育活動を保障します」とのことで、これは、園児数が減少した中でも教育活動を充実して下さると受け取っていますが、現時点で、その教育活動の具体的な内容についての展開をお伺いしたいです。

(事務局)

園児数や学年が少なくなりますので、その時点での大楠幼稚園の教育水準をできる限り維持していくということですが、現時点で具体的な内容はまだ決まっていません。11月の募集後に判明する園児数を踏まえて、大楠幼稚園の教育でどのようなことができるかを検討していく流れです。

ただ、下の学年がいなくなりますので、1つの例として他の幼稚園等と連携していくことが考えられると思います。

(事務局)

園児数がどれくらいかというところは重要なことですので、その点は見極めたいと思います。園児が減少したときに、特に下の学年がない時期が1年間続きますので、近くの保育園や幼稚園等との連携を通じて、上下関係を経験させることも考えていく必要があると思っています。

また、隣に大楠小学校がありますので、小学校でのさまざまな活動に少し参加させていただくことも考えているところです。

(事務局)

補足として、園の教育活動は、基本的に園長先生が全て考えていくという形になりますが、そこで教育委員会としてもサポートしていきたいと考えています。

例えば、諏訪幼稚園でも、下の学年がいなくなったときに、そうした体験ができないのではないかというご意見もありましたし、そうした体験をさせたいというご意見もありましたので、大楠幼稚園の方に、市のバスで来て、一緒に大根を植えたり、取ったりする体験をしています。

そうした園児や園長先生のニーズ等を聞きながら、進めていければと思います。

(大楠幼稚園)

教育委員会としてサポートしてくださるという方針は、非常に心強いと思います。

ただ、より中に入ったところを考えると、その人間関係が非常に濃密になります。その中での良さもありますが、限られた人員の中で園児を育てていくということになります。そのあたりについて、私たち職員でも、良い形での関わりの深さというようなことをかなえていかなければいけないと思います。やはり30人の園児たちを見ていくということとは、随分違ってきますので、あらかじめ心してやっていかなければいけないと思います。

(保護者)

一番上の子どもが、大楠幼稚園で一番勢いのあった時期を経験し、現在、コロナ禍で次男が在園し、最後の子どもが、年長時に単学年となります。

実際に、今年の園児募集への申し込みをさせていただくつもりですので、まさにリアルタイムでいろいろなことを考えていて、本当に勢いのあった大楠幼稚園の活動を知っているからこそ、コロナになって残念だったのもあり、さらに閉園の話が出てきたので不安が多くて、もちろん園児が少なくなるというのはそうなのですが、その関わり方や連携の取り方をどのようにしていくのかなどが気になっています。

ただ、絶対に子どもを大楠幼稚園へ入れることを決めているので、子どもを入れた以上、2年間だけですが、充実した幼稚園生活を送ってもらいたいと思っています。

コロナ禍で難しい部分もあると思いますが、身近にある小学校、地域の幼稚園、それ以外の地域の大人の方でもいいので、いろいろな方との交流を持つことについて、一生懸命考えてもらえたら、それだけでも親としては良いのかなと思っています。

もう一点、おそらく年に2回だったと思いますが、諏訪幼稚園で大楠幼稚園との交流があったことの他に、どのようなことをしていたかを詳しく聞かせてもらいたいです。

(事務局)

諏訪幼稚園では、園児数が少なくなる分、その教育が充実したものになるように園長先生と教育委員会で、年間のカリキュラムの洗い出しを行いました。

その中で、その地域にある財を活用した方が良いということで、例えば三笠公園や猿島も近くにありましたので、今までは全然行ってなかった猿島探検を企画し、2、3回ほど探検しに行き、これを通じて園児たちの中の学びに変えていくようなカリキュラムに作り直しました。

園児が少なくなっても、大楠地域にある豊かな財を見つめ直し、カリキュラムを一緒に考えていければと思っています。カリキュラムの編成権は、基本的には園長先生にありますので、こちらから指示することはできませんが、園児たちにとって良い教育活動とは何かというところで、一緒に話し合いをしておりました。

諏訪幼稚園での事例は、そのような形でした。

(保護者)

ありがとうございます。

実際にそのようになった時に、例えば、在園児保護者からの意見を出せば、それを吸い上げてもらえる可能性はありますか。もちろん、無理のない範囲になりますが、くみ取っていただける部分があるのかどうか教えてください。

(事務局)

諏訪幼稚園でも、このような関係者連絡会の中で、保護者の皆さまから、このような教育があれば、というご意見をたくさん出していただきました。それを基に、教育委員会も園長先生も考えながら進めてきましたので、大楠幼稚園でも、諏訪幼稚園と同様に対応できると思います。

(保護者)

園長先生の考えもあると思いますが、長い間大楠幼稚園を見守り、地域とのつながりも、小学校の様子も分かっている園の主任の先生のご意見をしっかりと吸い上げて、実践に生かしてもらいたいと切に思います。

(保護者)

今後も、幼稚園の在り方や教育活動について、連絡会ないし保護者も参加できるような話し合いの場を設けていただけるといいのでしょうか。

(事務局)

この関係者連絡会は、基本的には連絡・報告の場として残す形になりますが、メンバーや形式等は流動的になると思います。

例えば、今のカリキュラム等のお話でも、基本的には園長先生の権限で決められるものですので、園長先生に直接言っていただければ、それを検討していただけるというものになります。ご要望があれば伺いますが、その内容によっては、形式やメンバー等を検討しながらやっていきたいと考えています。

(保護者)

分かりました。

以前、幼稚園の授業料が無償化になり、今のニーズに応えた形にしなかったのかという質問に対しての回答を改めていただいたのがついこの間のことで、教育現場の先生方もそれを知っていらっしやったのかどうかと思いますが、その先生方がいろいろなことを考えても、教育委員会で、例えばこれはできないという規制をしたり、もう少し規模を縮小してやってほしいというような指導をしたりすることはあるのでしょうか。

(事務局)

どのレベルでの要望かは分かりませんが、公共の施設で税金を使って行われる事業ですので、予算的な部分での制限であったり、人員不足でできなかったり、さらに施設や物品等さまざまな面でできなかったりすることがあります。

学校、幼稚園から頂いた要望にはできるだけ応えたいと思いますし、園児の教育に資するものであればやりたいと思いますが、一方で、今のような制限があることも事実ですので、その部分のバランスを見極めながら相談させていただいてというのが、今の進め方になっています。

(保護者)

質問と回答にある問3-2で、支援を要する園児の受け入れの協力を依頼しています、と記載されていますが、その依頼に対する幼稚園・保育園・認定こども園はどのような返答ですか。

(事務局)

先週ありました幼稚園・保育園の集まりの際に、令和6年度末に閉園する方向で検

討を進めていく中で、障害児やその他配慮を要する子どもの受け入れをお願いしています。

その中で、先ほど話のあった大楠愛児園も含め、これから園児の人数が少なくなる中で、できる限りの協力をしていきたいというご意見を頂いています。

(保護者)

3歳の子どもがいる横須賀在住の保護者とお話をしましたが、その子どもには障害があり、7園から断られてしまったという話がありました。

幼稚園側の問題もあると思いますので、こういう現状を踏まえ、教育委員会の方もしっかり問題解決に向けて対処してもらいたいと思います。

(事務局)

当然のことと考えています。ご意見ありがとうございます。

(保護者)

幼小連携を誇りに思ってきた大楠幼稚園の保護者です。

その大楠幼稚園が閉園してしまった後、連携していた良さが消えてしまうということですが、今後、地域の最寄りの幼稚園や大楠愛児園などで、今までのものに代わるようなものは企画してもらえるのでしょうか。

(事務局)

教育委員会では、17年前から、幼小連携推進事業として、年3回のさまざまな研修、小学校と幼児教育を担当している幼稚園・保育園・こども園との集まりなどを企画し、実際に行っています。

令和2、3年はコロナ禍でうまくできませんでしたが、今年度から以前の形に戻し、6月に全市の小学校の先生の担当者、全ての幼稚園・保育園・こども園に声をかけ、担当の方に参加いただいています。

幼稚園・保育園の方の参加は希望制でしたが、その中でも大楠地区の先生方も参加いただいていますし、またそこで顔合わせの機会を作った後、学校と園との方でしっかり連携していただくようにお話をしています。

先週も、大楠幼稚園・大楠愛児園・大楠小学校が集まり、1年生の入学時の様子を伺ったり、来年の入園に向けた不安についての確認をしたりといった連携はとっています。特に文部科学省も、この幼小連携が非常に重要であるとして、昨年度からかけ

橋プログラムというものを推進していますので、市を挙げて、教育委員会としても、しっかりとこの幼小連携推進事業をバックアップしているところです。

(保護者)

先日行われた会合での、小学校・大楠愛児園・幼稚園・それ以外の近辺の民間幼稚園の参加状況はいかがですか。

(事務局)

聞く限りでは大楠小学校・大楠愛児園・大楠幼稚園の3つですが、武山地区や荻野地区の先生方にも参加いただいています。特に大楠小学校に入学する予定の園児のいる園には必ず行き、クラス編成の関係もありますので、小学校の先生方が園児の成長の様子を聞き取るといったことは間違いなく行っています。

(保護者)

それを1年通して継続的にやっていってほしいと思います。

大楠幼稚園がなくなった場合、愛児園さんしかなくなる形になりますが、実際この大楠小学校に通うはずの園児は、いろいろなところにいると思うので、その民間幼稚園の方も、そこに必ず参加でき、連携がとれるようにすることを切に願います。

(大楠小学校)

幼小連携はとても大切ですし、実際、来月に小学校の給食を園児たちに食べていただく機会も設けています。子どもたちが小さい子どもたちと関わることで、成長し、学んでいく。そして、やがて自分たちが大きくなったときに、また小さい子たちに返していくといったことを、大楠小学校の一つの大切な文化として、また作っていければと思っています。ありがとうございました。

(保護者)

カリキュラムについては、園長先生が主にお考えになると伺いましたが、幼小連携という活動については、校長先生がお考えになって、他の施設に連絡を取るといった形ではないのでしょうか。教育委員会側からの指示という形で降りてくるものでしょうか。

(事務局)

幼小連携については、教育委員会から小学校にお願いをしますが、小学校のいろいろな事情もありますので、どのようなやり方をするのかについては、小学校の校長先生に任せているところです。

(保護者)

跡地利用については、地域の皆さまからご意見を伺いながらということですが、具体的に考えているものを詳しくお聞かせください。

(事務局)

財務部FM推進課というところで所管する形になります。

そこで、改めて跡地利用について検討していきますが、人選等については、FM推進課で検討しながら、どのようなメンバーで話し合うかということになりますので、その形式については、現時点でまだ決まってはいませんが、このような場で意見を伺いながら検討していく形になります。

(保護者)

教育委員会、町内会の方、そして地域の方も参加できる場ということですか。

(事務局)

地域の代表の方に出ていただく形の可能性もありますし、また説明会が必要となるかどうかもありますので、その点は未定です。

(保護者)

財務部FM推進課が決めていくということですか。

(事務局)

そうです。

検討の対象は大楠幼稚園になりますので、当然、教育委員会も入ります。

(保護者)

皆さまからの意見を伺うという思いであれば、回覧板で地域に広く周知し、意見を聞くことは現実として難しいと思っています。

回覧が来ているはずなのに知らなかったという現状もあれば、そもそも町内会に入っていない方は見られないという現状もありますので、この方法は改めていただきたいと思っています。

可能であれば、大楠小学校の保護者に対して、跡地利用の意見、要望等をアンケートで聞いていただくことをお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

FM推進課には、アンケートを希望するという事について、ご意見としてお伝えしたいと思います。

回覧については、地域の相当数の方々の目に触れる媒体であると考えています。

回覧による周知の方法の他に、アンケートを加えるというお話だと思しますので、それをお伝えしたいと思います。

(町内会)

回覧板の話がありましたので、ご説明させていただきます。

大楠地域の町内会加入率は高く、7、8割くらいの方が加入していますが、武山はもっと低いです。

皆さまは地域活動の大事さが分かると思います。それからもう一つ、回覧板にはメリットとデメリットがあります。各町内会の役員がとじて配っていますが、実際に見ているのは何人でしょうか。回覧を回しても見ていないものだから、何か集まりがあったときも、その集まりに参加したかったと連絡が来ますし、この会の存在を知らなかったということもありました。

自分の興味があるものは一生懸命見てくれても、そうでなければ、そのまま見ずに回ってしまいます。回覧板がこちらに来て、資料が抜かれた形跡がなかったり、そのまま新聞が残っていたりするものが散見されます。

秋谷でのアンケートの件や、防災訓練のお知らせの件などを振り返ってもそうですし、署名の件でも、数さえ集めれば良いという具合にどんどん書いてしまうというような状況もあります。

こうしたことを経験しているので、なるべく、皆さまに町内会に入ってください、そういうことに興味を持って協力していただきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

(保護者)

普段、町内会で積極的にやったださる方の意見はとても貴重で、今、回覧板の現状を分かっていたと思います。

この間の幼稚園の保護者に対するアンケートでも、直接配布して返事をもらう形だと、8割ほど返ってきました。

意見を吸い上げるという点では、やはり町内会の回覧板だけでは対応しきれない部分があると思うので、是非、直接アンケートを取る形を採用してほしいです。

(保護者)

園長先生に直接話すことだとは思いますが、一応この場でも話しておきたいと思います。

大楠幼稚園の最後の年に単学年となった時に、例えば、運動会一つにしても、最後の7、8人の年長児だけでやることとなった場合、他にいるのはそれに伴う園児の親だけで、とても寂しい感じになると思います。

その時のコロナの状況にもよりますが、例えば、卒園児の子どもや地域の子もたちをオープンに呼んでもらえるような、そういうイベントを行う努力をしてもらえれば個人的には良いなと思っています。来年からの2年間、大楠幼稚園を寂しい形で終えたくないと思っていますので、それを心に留めておいてもらえると嬉しいです。

(保護者)

大楠幼稚園関係者連絡会について、今、現役の保護者として出させてもらっていますが、来年度も現役の保護者だけになるのでしょうか。

可能であれば、OBとして現役の保護者の補佐をする形で、出席を許していただけたら嬉しいのですが、いかがでしょうか。

(事務局)

現時点で、関係者連絡会の来年度の予定はまだ未定です。

OBの立場での出席というのは、どのようなことですか。

(保護者)

コロナ禍もあり、私も知らないことはたくさんありますが、大楠幼稚園の長い歴史の中で続いてきた伝統のようなものもありますので、その良さについて、今はずっと縮小したままですが、その時期を見ながら、できていなかったことを行事や活動の中

に取り入れるというような意見などを補佐的にお話しさせてもらえればと思っています。

(事務局)

開催形式を含め、未定な部分はありますが、ご要望として伺います。

OBの意見を聞く場を設けてほしいということによろしいですか。

(保護者)

園長先生にお伝えすればいいことかもしれませんが、よろしくお願いします。

(保護者)

FM推進課がこれから進めていく跡地利用の話は、実際、いつから動いていくのでしょうか。

(事務局)

具体的には決まっていますが、大楠幼稚園の閉園の議案が決定した後の話ですので、11月以降だと思います。

今後、どのように進めていこうかということについて、またご連絡等をさせていただくことになると思います。

(保護者)

閉園時期が決定した後の告知はどのような形でしょうか。大楠幼稚園のホームページにも載るといふことになりますか。

(事務局)

告知については、まず教育委員会の10月定例会で議案が提出されますので、そこでオープンの情報となります。議案、会議録等でも公表されますが、ホームページへの掲載や回覧で周知をさせていただきたいと思います。

保護者の皆さまにも、お手紙という形で送らせていただきたいと思います。

(保護者)

お願いしたいことがあります。

告知の際に、閉園時期が決定したという事実だけだと、ネガティブに感じてしまい

ますし、この一文だけでは不安なことも多く出てくると思いますので、例えば、大楠幼稚園のホームページに掲載する文の下に、今回お話いただいている、教育活動を保障していくことと、今後このようなことを検討していることなどを入れていただき、これから入園する皆さまに不安がないような形にさせていただけたら嬉しいです。

(事務局)

今言ってくださったことは、できる限り取り入れていきたいと思います。

全く決まっていないこととか、またどちらになるか分からないようなことについては、混乱を招きますので、それをお出しすることはできませんが、園児たちの教育活動の水準を維持しながら、閉園までやっていくことは、今までも言い続けていますので、そうした部分は、きちんと伝えさせていただきたいと思います。

(事務局)

本件については、広報よこすかにも掲載します。

ただ、誠に申し訳ありませんが、紙面の都合上、閉園する事実しか掲載できませんので、その点はご了承いただきたいと思います。

(保護者)

分かりました。

(事務局)

最後に一言申し上げたいと思います。

4回にわたって、大楠幼稚園関係者連絡会にご参加くださり、本当にありがとうございました。特に保護者の皆さまには、たまたまこのタイミングでお子さまが在園され、この会議のメンバーになったということで、本当に過重な負担を感じられていたかと思います。その点は大変申し訳なく思っております。

ただ、今回はあくまでもご意見を聞く場ということでの会議の設定ですので、決して皆さまに責を負わせたりというつもりはございませんし、私たちもこの会議の場で決まりましたという言い方は決してしないつもりですので、そこについてはご了解いただきたいと思います。

むしろ、保護者の方の強いご意見として、この大楠幼稚園を残してもらいたい、また、もう少し延期していただきたいというようなご意見があったことは、これまでも伝えてまいりましたし、これからも必ず説明するようになっています。

先日の市議会で、ある市議会議員が質問され、その質問にお答えするような形で私が申し上げましたが、こうした話の場合には、全ての皆さまが納得し、その意に沿えるような形で解決できるということが非常に難しいということがございます。私どもとしても、このままでは良好な教育環境が維持できないということで、今回は本当に苦渋の決断で検討に入ったということがございますので、その点については、改めて申し上げたいと思います。

来月の教育委員会で、本件についての議案を出しますが、教育委員には、これまでの会議録等を全てお渡ししています。

皆さまの思いについては会議録等に記載しておりますので、それについて、目を通していただくようお願いしています。

私どもにとっても、今回この教育機関を一つ閉めるということは、かなり覚悟を持って取り組んでいることとございます。これまで頂いた皆さまのご意見や思いというものも背負った上で、これからも取り組んでまいりたいと思っております。

また、地域の皆さま、保護者の皆さまも含めて、この幼稚園を、本当に長い間愛していただき、温かく見守っていただき、支えていただきまして、本当にありがとうございました。幸いにも、まだこの施設は残りますので、これから、また前向きな話を一緒にさせていただいて、この施設のより良い使い方の検討について、一緒にお願いしたいと思っております。

繰り返しになるかもしれませんが、閉園までについては、来年度も園児を募集します。今、保護者役員の方からも入園していただけるというような心強いお言葉を頂いたところですので、園児がいる限りは、最後の最後まで、教育委員会としても全力でサポートし、今の教育水準を守れるような形で終えたいと思っております。引き続きご協力をお願いしたいと思います。

(事務局)

それでは最後に、次第の3の事務連絡になります。

本日の会議録につきまして、これまでと同様、作成させていただきましたら、一度皆さまの方にお送りし、内容をご確認いただきたいと思います。

また、内容が確定し次第、会議録につきましては、ホームページの方でアップしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それでは、第4回の大楠幼稚園関係者連絡会を、これで終了いたします。

本日はありがとうございました。